

島根県海士町における基本計画の概要

計画のポイント

「自立・挑戦・交流」をスローガンに掲げる海士町において、隠岐牛やいわがき等の特産物、町内最大のホテル、隠岐神社及びまちづくり人材の研修施設を活用して高い付加価値を創出して経済的効果を及ぼす地域経済牽引事業を創出し、海士町の「ブランドづくり」を進化させる。

促進区域

島根県隠岐郡海士町全域

経済的効果の目標

・1件あたりの平均4百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.5倍の波及効果を与え、促進区域で2.4千万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

- ①海士町の「隠岐牛」や「岩がき」等の特産物を活用した地域商社
- ②島のサービス産業の柱であるマリンポートホテル海士を活用した集客交流サービス
- ③隠岐神社やその周辺の観光資源を活用した観光分野
- ④地域の多様な生産・サービス現場の担い手を育成する「離島キッチン海士」及び「島食の寺子屋」の施設を活用したまちづくり

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：3,029万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上げ：1.07%増加
- 取引額：1.07%増加
- 雇用者数：1%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税（島根県）の減免措置の創設
- ・オープンデータの公開・活用の推進、海士町内の相談窓口設置、離島振興法及び有人国境離島法に基づく施策の運用

地域経済牽引支援機関

隠岐国商工会、一般社団法人海士町観光協会

《促進区域図》



《地域の特性》



計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで